

優 秀 賞

おかあさん、だいすき

荒川区立第二峡田小学校 一年

ないとう きよと

やなぎだくにおせんせいへ

ぼくは、二はけしょうがつころのーねんせいで
す。

ばくが、このほんをよんだりゆうは、なっちゃん
んという、おんなのこのきもちとおなじだなあと、
おもったからです。ぼくにも、三つしたに、おと
うとがいます。だから、がまんするところが、ぼ
くとおなじだなあとおもいました。

なっちゃんは、ひとりでぎゅうにゆうをいれた
り、きがえたり、じょうずにできなくてもやりま
した。ぼくも、しっぱいするけど、おかあさんが

おとうとのめんどろをみているときは、ひとりで
やります。でも、ぼくはーねんせいだから、なっ
ちゃんよりはじょうずにできます。

ほんをよみながらなっちゃんに、がんばれと、
おうえんしました。

なっちゃんは、おひるねのときおかあさんに、
だっこをしてもらって、ひとりじめできました。
うれしいだろうなあと、おもいました。ぼくも、
がっこうのかえりにおかあさんが、おとうとより
さきにむかえにきてくれて、てをつないでかえっ
たことがあります。がっこうのはなしをしながら
あるいて、とてもたのしかったです。こんど、ぼ
くとおかあさんでおでかけしよう、やくそくを
しました。ぼくは、うれしくて、はやくおでかけ
するひにならないかなと、おもいました。

ぼくは、おかあさんがだいすきです。なつちや
んも、ぼくとおなじで、おかあさんがだいすきな
んだとおもいました。

「おかあさん、だいすきだよ。」